

# 祝 第67回生 280名元気に入学!

## 第67回入学式

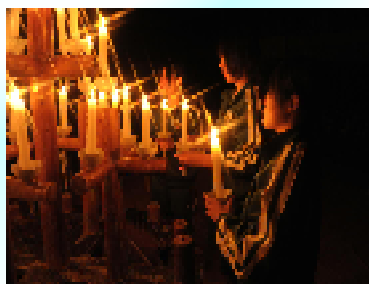
4月7日(土) 厳粛な雰囲気の中、入学式が挙行されました。新入生は緊張した面持ちながらも、すでに八女高生としての一歩を踏み出しました



新入生総代 澁江拓哉君(羽犬塚中)

## 「自助と共助を学ぶ宿泊体験事業」in 阿蘇

4月30日(月)～5月2日(水)に「自助と共助を学ぶ宿泊体験」事業が行われました。阿蘇で同じクラスの仲間と寝食をともにすることで、友情の輪を広げ、規律を身に付け、八女高生としてのつながりを感じ取りました。



## 飛形山遠足

5月24日(木) 毎年恒例の第1学年の飛形山遠足が行われました。生徒たちは終始笑顔が絶えることなく、新緑の中で楽しそうに過ごしていました。



## 部活動実績



平成24年度  
第1号  
<7月20日発行>  
福岡県立八女高等学校  
校長 大坪 秀美  
編集 企画広報課  
【本号の内容】  
・祝 入学  
・克己心育成事業  
・祝全国・九州大会出場  
・大運動会  
・OB紹介  
・英検団体優良賞  
・立志源泉録

## <シリーズ OB紹介(第4回)>

### しも かわ ゆたか 下川 泰

八女中・八女高同窓会会長  
公立八女総合病院名誉院長  
(医)清友会老健  
クリーンパル・ゆう施設長

#### ★プロフィール

昭和25年 高2回卒業  
昭和31年 久留米大学医学部大学院卒  
久留米大学医学部助教授  
昭和44年 公立八女総合病院院長  
平成12年 クリーンパル・ゆう施設長  
平成12年 勲四等瑞宝章 受賞  
平成13年 本校同窓会長就任



下川先生は本校の同窓会長として皆さん周知のことと思いますが、公立八女総合病院長として長年ご活躍されたことで大変有名な方です。現在でも研鑽を積み精力的に活躍していらっしゃる先生のお話を以下に掲載します。

「私は、旧八女郡光友村の出身です。県立八女中学校へ昭和19年4月に入学、太平洋戦争に敗れて学校制度が変わり、八女中学は八女高等学校になり、昭和25年3月に卒業しました。

久留米大学医学部卒業後は、病理学や内科学を研鑽し、先輩に触発され、忘れがたい恩師に出会いました。「人は、背中では評価されているのだよ」、と言われたその恩師の一言が耳から離れません。仕事には、真摯に取り組めということです。

昭和44年9月に八女民生病院院長に就任、在任30年間。就任以来、地域の医療水準の向上と病院の健全経営を目標に定め、実践かつ堅持してまいりました。職員の意識改革と研修、できるだけ新しい機械の導入、新しい医療に取り組むことに専念しました。また、参考になる病院を視察し研修を続けました。「後ろを振り返らず、前を見て進む」ことが私のモットーでした。

院長時代の後半は、全国自治体病院協議会の副会長等様々な役職や医師会の活動にも参加して参りました。そして、70歳のとき勲四等瑞宝章の叙勲の栄に浴しました。

今まで、健康に恵まれていることを感謝し、好奇心を抱くこと、それにチャレンジする気持ちを持ち、実行に移すことを心がけております。」

### はしもと だい ち 橋本 大地

プロゴルファー  
ツアープロコーチ

#### ★プロフィール

平成7年 高43回卒  
平成11年 プロテスト合格  
平成21年 トーナメント出場権獲得  
平成23年 ツアープロコーチに転身



橋本さんはツアープロコーチをなさっています。メンタル面を含め、的確な指導でコーチとして人気上昇中です。信条は、校訓でもある「質実剛健」。高校時代に、プロゴルファーになるため、ズボンのポケットに「いりこ」をしのばせて、いつもかじっていたという逸話があります。以下橋本さんから八女高生へ激励のメッセージです。

「現在、私はプロゴルファーを教えるプロゴルファーとして仕事をさせていただいています。小、中、高と12年間サッカーをやっていましたが、高校を卒業してプロゴルファーを目指し、練習を始めました。プロになるにはなかなか険しく、何度も挫折しそうになりましたが、両親が精神的にも経済的にも、支えてくれ、ちょうど10年目の27歳になる年に合格する事ができました。

プロになってからも大変で、なかなか今、毎週TVでやっているトーナメントに出場するのが難しく、32歳の時に、プロゴルファー2000人の中の30位以内に入り、ようやくトーナメントに出場する権利を獲得しました。そして1年間トーナメントで戦いましたが、強者(つわもの)どもの集まりで、お金を稼ぐどころか、何百万もの赤字になりました。そして、競技生活を続けていくモチベーションがなくなり、色々考えた結果、ツアープロコーチの道に進む決心をしました。現在は、横峯さくら選手をはじめ、多くの女子プロゴルファーのコーチをさせていただき、ゴルフのレッスン番組もさせていただいています。

私がゴルフを通じて勉強させてもらった事は、二つあります。一つは感謝です。ここまでこれたのも自分一人の力ではないし、色々な方々のサポートがあつての事です。そしてもう一つがプラス思考です。これは意識をすれば誰でもが、ネガティブではなく、ポジティブになります。これからの人生、自分の周りの方々に感謝して、どんな事にもポジティブシンキングで歩いていってください。絶対、夢は叶います。」

## 祝 全国大会出場

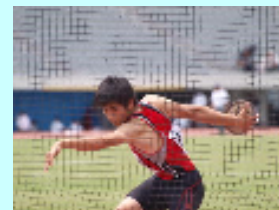
◎空手道部  
第55回全国空手道選手権大会  
(於 東京都)

高校女子 形の部  
井上 紗矢香 (3年 上陽中出身)

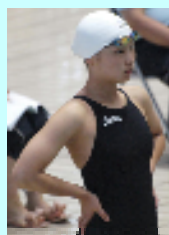
## 祝 九州大会出場

◎陸上競技部  
第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 北九州地区予選会  
(於 佐賀県)

円盤投げ  
堤 信敬 (3年 黒木中出身)



◎水泳部  
平成24年度全九州高等学校総合体育大会水泳競技大会 (於 宮崎県)  
200m 背泳ぎ  
200m 個人メドレー  
今村 亜美 (3年 星野中出身)



◎文芸部  
第2回牧水・短歌甲子園 (於宮崎県)  
安達 雅子 (2年 南中出身)  
江淵 大介 (1年 八女学院中出身)  
堤 祥亮 (1年 福島中出身)

## 県大会出場

剣道部、陸上競技部、水泳部、空手道部、卓球部、弓道部、バスケットボール部、サッカー部

## 英検団体優良賞受賞

本校は、平成23年度第3回実用英語技能検定(英検)において、合格者を多数出したことで団体優良賞をいただきました。





平成24年度 大運動会 (平成24年6月10日 日曜)

# 過去最高の大運動会

さんぜん  
**燦然** ～絆・感動・結集、見せよ底力～

私たちが大運動会で目指したものの、今年の大運動会を過去最高にすること。そのためには、生徒一人一人が主体性を持ち企画・運営をしなければならないと感じました。

そして本番当日、天候にも恵まれ最高の状態で始めました。この日まで頑張ってきた各セクション全員のお蔭で本番もスムーズに進行し、見事大運動会は成功しました。

テーマのとおり、私たちの絆が結集され、感動が生まれました。生徒一人一人が確かに燦然と輝いていました。私達八女高生にとって最高のものとなりました。全力で頑張ってくれた皆さんにそして支えて下さった全ての皆さんにお礼を言いたい!「ありがとうございました。」

生徒実行委員長 井上勝貴(3年5組 西中出身)



## 立志源泉録 (りっしげんせんろく) シリーズ第1回

このコーナーでは10回シリーズで八女高出身の偉人にスポットを当て、お一人ずつ紹介します。タイトルの立志源泉録とは、本校百周年記念誌の表題よりとったものです。第1回目は日本画壇でも頂点をきわめられた画家の田崎広助氏です。福岡県庁1階ロビーの左右の壁画も氏の作品です。

たざきひろすけ

田崎広助 (中学4回卒) 本名は廣次 明治31年9月1日 八女郡北山村 (現立花町) 生まれ

大正6年 福岡師範二部卒業  
八女郡上妻尋常高等小学校奉職  
油絵製作に励む  
大正9年 上京、東京本郷駒本小学校教師となる  
坂本繁二郎の知遇を得る  
大正12年 京都に転居「関西美術院」で研鑽  
大正13年 画業に専念し「田崎の世界」に向かう  
大正15年 第13回二科展に『森の道』他2点一挙に入選  
昭和2年 上京、豊島区に転住、二科展入選恒例となる  
昭和7年 ヨーロッパ留学  
昭和11年 安井曾太郎らと一水会創設 二科会を離脱  
昭和17年 第6回一水会展に初めて『阿蘇山』を出す  
昭和19年 北山村に一家疎開  
昭和21年 練馬のアトリエに帰り、鋭意製作  
「阿蘇の田崎」で画壇の頂点を極める

昭和36年 芸術院賞受賞(63歳)  
昭和42年 芸術院会員、日展常任理事  
昭和50年 東京高島屋と博多玉屋で初の回顧展  
「田崎広助展」開催  
昭和50年 文化勲章受章(77歳)  
昭和51年 八女高校、八女市で講演会を行う  
盛大な歓迎を受ける  
昭和53年 第40回一水会展に『朝やけの阿蘇山』出品  
福岡市美術館に代表作30点余寄贈  
昭和59年 1月28日 東京都練馬区で死去(85歳)

氏の作品は、同窓会館(泉が丘会館)に展示されています。



阿蘇をモチーフにした代表作品



泉が丘会館内の作品

平成24年度上半期  
八女高ポスター完成!

